

潮流

七世紀末から十世紀初めにかけて、現在の中国東北地方、朝鮮咸鏡道およびロシア沿海州にまたがり、渤海という国家があった。二十一世紀のイメージは、

古代の交流と繁栄を復活させる「環日本海圏」への時代として。

古くから日本との交易があった中国・琉球。現在は国家レベルの国境開放都市となり、中国・ロシア・朝

鳥取ガス株式会社取締役社長

児嶋 祥悟



「環日本海圏」の復活を

鮮民主義人民共和国(北朝鮮)三国の国境に接するといふ対外貿易上の地理的条件に恵まれ、外資の積極的導入を図る琿春市経済合作区の建設が急ピッチで進められている。

琿春から車で一時間程で、南側に川幅八十一九十米程の図們江が見えて来る。

十年間で三百億ドルを投資し、一大経済センターを作るとをブチ上げた産業開発の中心地だが、どこを見渡しても開発に關係したものはない。

図們江開発は、一九九一年十月、平壤で開かれたNDP会議がスタートである。会議では、開発計画策定を進めるために、関係国

で、ロシアの港を借りて日本海に出るルート。中国はロシア側に活路を求め、現在、琿春—ザルビノ間七十里に鉄道を敷いている。これが完全に開通すれば、中国が日本海に出るルートになるであろう。第三は、延吉・朝陽川から清津を經由して日本海に出るルートであるが、北朝鮮が難色を示している。

図們江は白頭山に水源を発する。白頭山には、「天孫降臨神話」と同様の神話が伝えられており、多くの韓国人が観光目的で白頭山もつてをしており、わが国も観光・文化・民間交流の目玉の一つとして検討に値する。

政府間の協議機構として計画管理委員会(PMC)を

中国側が三国間開発に最も期待しているのは図們江を通じての日本海交流で、

日本経済はバブル崩壊後、直接投資の流れは低下しているが、田舎の進展とベースに沿って、環日本海の国々や産・学・官の協調が極めて重要である。経済効果と環境改善効果の双方に配慮しつつ、長期的視野に立って、それぞれの分野の活動で役割を果たすことが重要であろう。

図們江沿いにしばらく行くと、道の両側が沼地となり、国境沿いには鉄柵も有刺鉄線もなく、葦(あし)がまはりに生えているだけである。この湿地帯の五百—六百メートル北朝鮮とロシアを結ぶ鉄橋があり、その二十キロ先は日本海である。

図們江周辺地域に各国が計画している経済特区間の連携を図りつつ、開発を進めるの開發の中心となる企業体を設立し、河口付近主要インフラのリースを受け

第一は、中国の防川から図們江をたづんで日本海に出るルート。これは中口間の国境線協定を経て、中国の航動力に恵まれた中国・北東アジア地域は、われわれにとつて大きな未開拓の肥沃の地である。

第二は、長嶺子からザルビノ港やボシエツト港など整備が求められている今

日、日本政府の開発援助、特に二国間援助の拡大をもっと積極的に打ち出し、すでに飽和状態に近い東南アジアのインフラ援助から北東アジアの援助へと、その重点を切り替えよう行くとを切望する。

(鳥取市)